

CC-Link ネットワークモニタ機能

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

目次	3
改訂履歴	4
1. 概要	5
2. システム構成	5
3. GOT について	5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定	5
4. CC-Link ユニット(Q シリーズ)について	6
4.1 シーケンサエンジニアリングソフトウェアのネットワークパラメータ設定	6
4.2 ネットワークパラメータの局情報設定	6
5. 画面仕様	7
5.1 表示言語	7
5.2 画面遷移	7
5.3 画面説明	9
5.3.1 メニュー(B-30001)	9
5.3.2 CC-Link 診断(B-30002)	10
5.3.3 各局状態モニタ 1(B-30003)、各局状態モニタ 2(B-30004)	12
5.3.4 ネットワークユニット状態表示(ユーティリティ機能のモニタ)	13
5.3.5 マニュアル表示-言語 1(B-30500)、言語 2(B-30501)、言語 3(B-30502)	15
5.3.6 アラームリセット(W-30001)	17
5.3.7 言語設定(W-30002)	18
5.3.8 時計設定(W-30003)	19
5.4 使用デバイス一覧	20
5.5 コメント一覧	21
5.6 スクリプト一覧	21
6. マニュアル表示について	25
6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備	25
6.2 ドキュメントの総ページ数の変更	26
6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定	28
7. テンプレート	29
8. その他	30
8.1 システム構成	30
8.2 ネットワークパラメータの設定	30
8.3 注意事項	30

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0091	初版

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

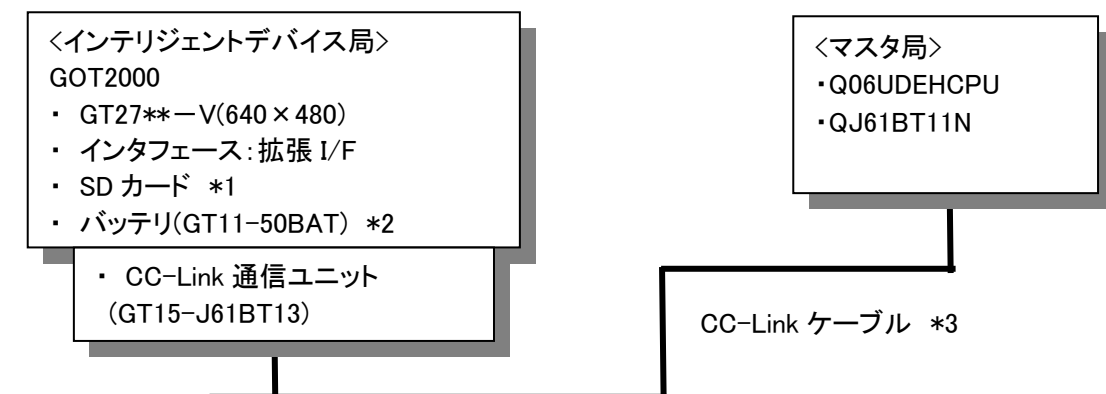
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	CC-Link_V_Ver1_J.GTX	1.100E	初版

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 で CC-Link のネットワーク状態(自局、他局、エラーなど)を表示するサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1: SDカードは、ドキュメント表示機能で使用しています。

*2: バッテリーは、時計データ保持で使用しています。(バッテリーはGOT本体に標準装備しています。)

*3: ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

* CC-Linkネットワークモニタ機能サンプル画面は、マスタ局やローカル局のシーケンサにGOTをシリアル接続やバス接続などで接続している場合も使用できます。詳細については、「8. その他」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント		日本語
通信ドライバ	CC-Link Ver.2(ID)		
拡張機能	標準フォント		中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国(簡体)漢字
	ドキュメント表示		

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

項 目	設定値	備 考
局番	1	
伝送速度設定	4:オンライン:10Mbps	
モード設定	Ver.2	
拡張サイクリック設定	1 倍	
占有局数	1 局占有	
異常時のクリア設定	クリア	
リトライ回数(回)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

4. CC-Link ユニット(Q シリーズ)について

4.1 シーケンサエンジニアリングソフトウェアのネットワークパラメータ設定

項 目	設定値	備 考
ユニット枚数	1	
先頭 I/O No.	0000H	
動作設定	デフォルト値を使用	
種別	マスタ局	
モード設定	リモートネット Ver.2 モード	
総接続台数	1	
リトライ回数	デフォルト値を使用	
自動復列台数		
待機マスタ局番号		
CPU ダウン指定		
スキャンモード指定		
ディレイ時間設定		
局情報設定	4.2 参照	
リモートデバイス局イニシャル設定	デフォルト値を使用	
割込み設定		

4.2 ネットワークパラメータの局情報設定

項 目	設定値	備 考
局種別	Ver2.インテリジェントデバイス局	
拡張サイクリック設定	1 倍設定	GOT と同じ設定
占有局数	1 局占有	GOT と同じ設定
リモート局点数	32 点	
予約/無効局指定	設定なし	
インテリジェント用バッファ指定(ワード)	デフォルト値を使用	

5. 画面仕様

5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループNo.255の列No.1～3に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列No.を格納すると列No.に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

5.2 画面遷移

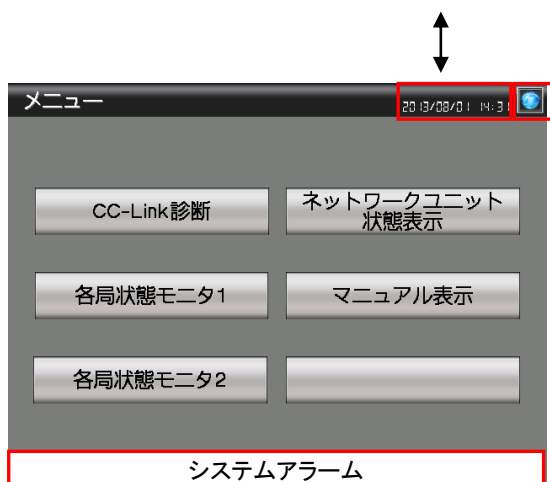
5.2.1 画面遷移(共通)



ウィンドウ画面 W-30003:時計設定



ウィンドウ画面 W-30002:言語設定



ベース画面 B-30001:メニュー他全ベース画面



ウィンドウ画面 W-30001:アラームリセット

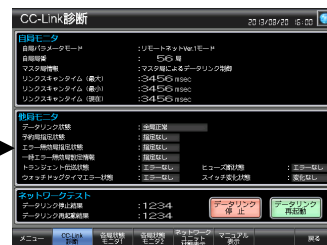
5.2.2 画面遷移(個別)



ベース画面 B-30001:メニュー



ユーティリティ機能 モニタ:
ネットワークユニット状態表示



ベース画面 B-30002:CC-Link 診断



ベース画面 B-30003:各局状態モニタ 1



ベース画面 B-30004:各局状態モニタ 2



ベース画面 B-30500:
マニュアル表示-言語 1



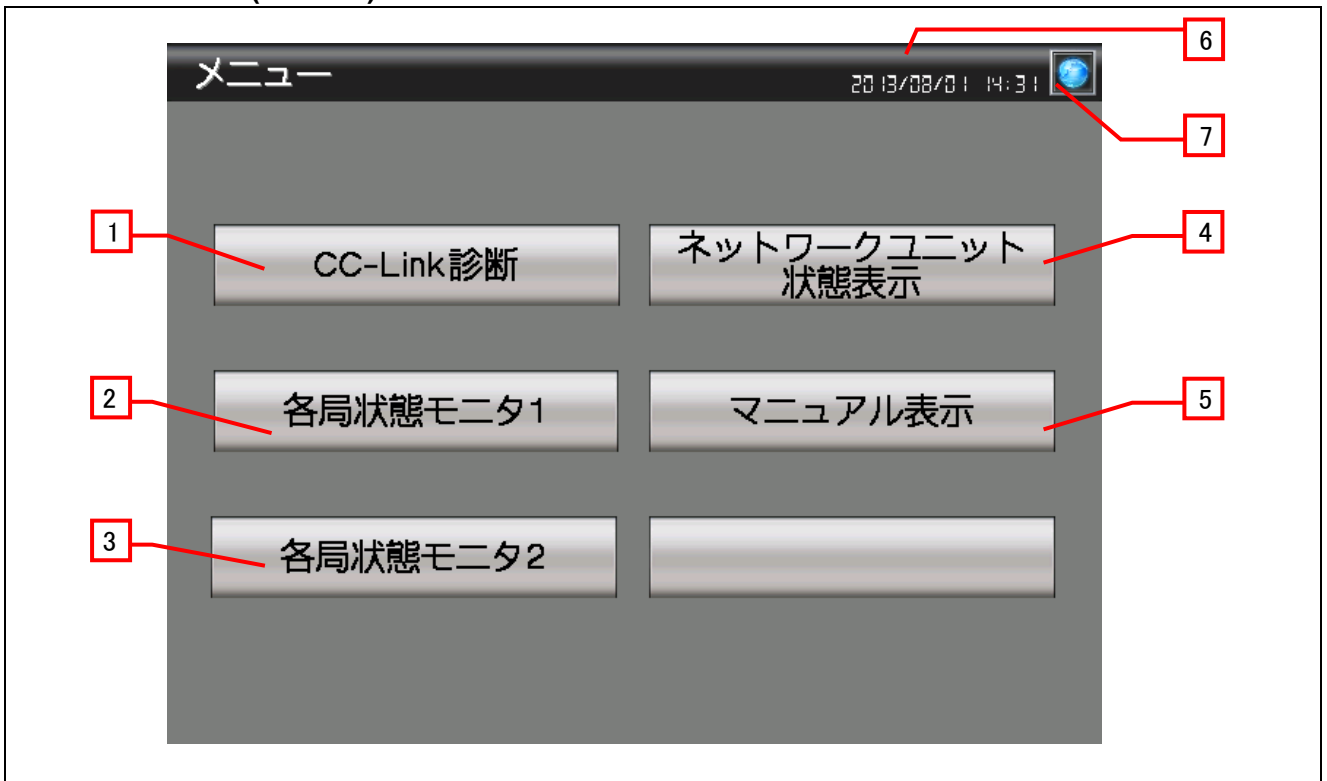
ベース画面 B-30501:
マニュアル表示-言語 2



ベース画面 B-30502:
マニュアル表示-言語 3

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー(B-30001)



概要

メニュー画面です。

詳細

1. CC-Link 診断画面に切り換えます。
2. 各局状態モニタ 1 画面に切り換えます。
3. 各局状態モニタ 2 画面に切り換えます。
4. ネットワークユニット状態表示画面に切り換えます。
5. マニュアル表示画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 CC-Link 診断(B-30002)



概要

CC-Link のネットワーク状態(自局および他局)を確認できます。

詳細

1. 自局のネットワーク状態が確認できます。

自局パラメータモード	: パラメータモードを表示します。
自局局番	: 局番を表示します。
マスタ局情報	: マスタ局、待機マスタ局のどちらでデータリンクを制御しているかを表示します。
リンクスキャンタイム(最大)	: リンクスキャンタイムの最大値を表示します。
リンクスキャンタイム(最小)	: リンクスキャンタイムの最小値を表示します。
リンクスキャンタイム(現在)	: リンクスキャンタイムの現在値を表示します。
2. 他局のネットワーク状態が確認できます。

データリンク状態	: OFF=全局正常 ON=異常局あり
予約局指定状態	: OFF=指定なし ON=指定あり
エラー無効局指定状態	: OFF=指定なし ON=指定あり
一時エラー無効局設定情報	: OFF=設定なし ON=設定あり
トランジェント伝送状態	: OFF=エラーなし ON=エラーあり
ウォッチドッグタイマエラー状態	: OFF=エラーなし ON=エラーあり
ヒューズ断状態	: OFF=エラーなし ON=エラーあり
スイッチ変化状態	: OFF=変化なし ON=変化あり
3. 自局のネットワークテストの実施とテスト結果の確認ができます。

データリンク停止結果	: データリンク停止指示の実行結果を表示します。 0=正常 0 以外=エラーコードを格納
データリンク再起動結果	: データリンク再起動指示の実行結果を表示します。 0=正常 0 以外=エラーコードを格納
データリンク停止	: 自局のデータリンクを停止します。
データリンク再起動	: 自局のデータリンクを再起動します。

4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ 接続方法により自局が示す機器が異なります。
 - GOT を CC-Link 接続している場合⇒GOT
 - GOT をマスタ局やローカル局のシーケンサにシリアル接続、バス接続などを行っている場合⇒接続しているマスタ局、ローカル局
- ・ 3 のデータリンク停止結果およびデータリンク再起動結果のエラーコードについては、「MELSEC-Q CC-Link システムマスタ ローカルユニットユーザズマニュアル(詳細編)」を参照してください。
- ・ マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 各局状態モニタ 1(B-30003)、各局状態モニタ 2(B-30004)



概要

各局の詳細な状態を確認できます。(1～32局はベース画面 B-30003 各局状態モニタ 1、33～64局はベース画面 B-30004 各局状態モニタ 2)

詳細

- 以下の設定状態を表示します。

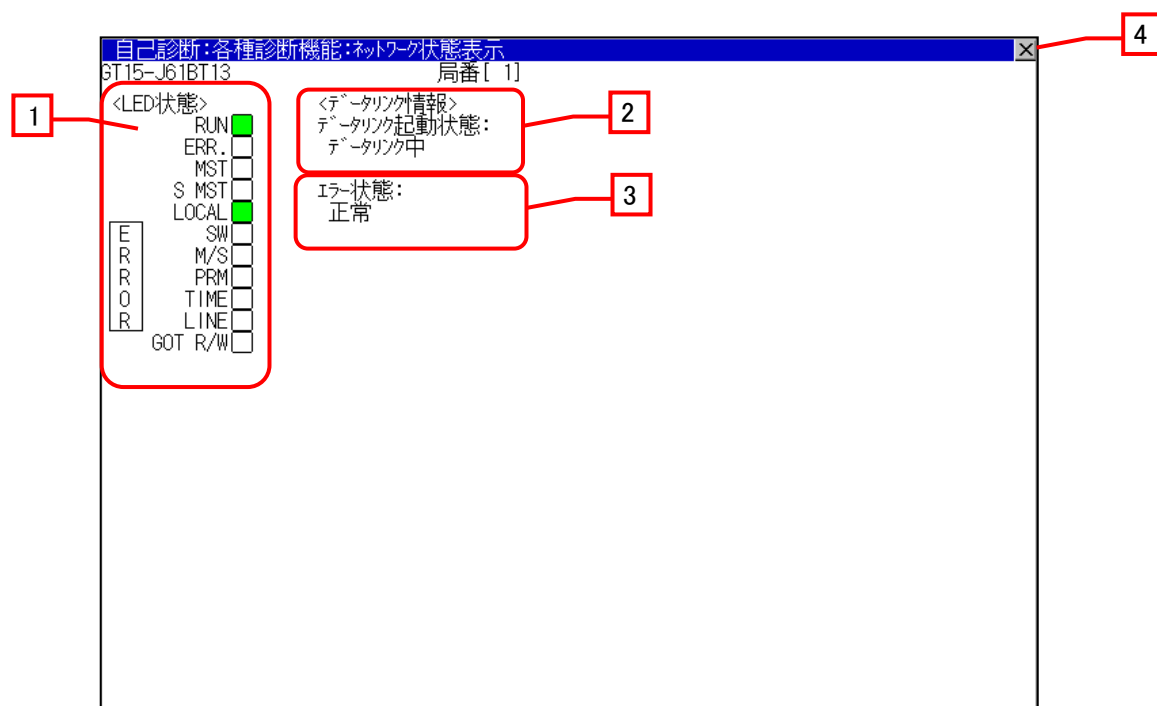
予約局指定	: OFF=予約局以外 ON=予約局
エラー無効局指定	: OFF=エラー無効局以外 ON=エラー無効局
状態	: 2 を参照してください。
トランジェント伝送エラー	: OFF=エラーなし ON=エラーあり
- 各状態は以下の優先順位で表示します。

1 一時エラー無効	: OFF=通常状態 ON=一時エラー無効状態
2 データリンク異常	: OFF=正常 ON=データリンク異常発生
3 WDT エラーあり	: OFF=ウォッチドッグタイマエラーなし ON=ウォッチドッグタイマエラーあり
4 ヒューズ断エラー	: OFF=正常 ON=異常
5 スイッチ変化あり	: OFF=データリンク中の他局のスイッチ変化なし ON= データリンク中の他局のスイッチ変化あり
- 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
- 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 ネットワークユニット状態表示(ユーティリティ機能のモニタ)



概要

装着しているCC-Link通信ユニット(GT15-J61BT13)のLED状態、エラー情報などを確認できます。

詳細

- CC-Link 通信ユニット(GT15-J61BT13)の LED 状態を表示します。

RUN	: 消灯=WDT エラー発生、またはリセット中 緑点灯=正常運転中
ERR.	: 消灯=通信エラー未発生、またはリセット中 赤点灯=全局交信異常 点滅=交信異常局あり、または局番号が重複している
MST	: 消灯=マスタ局以外で動作中 緑点灯=マスタ局として動作中
S MST	: 消灯=待機マスタ局以外で動作中 緑点灯=待機マスタ局として動作中
LOCAL	: 消灯=ローカル局以外で動作中 緑点灯=ローカル局として動作中
SW	: 消灯=スイッチ設定エラーなし 赤点灯=スイッチ設定エラー
M/S	: 消灯=マスタ局重複エラーなし 赤点灯=マスタ局重複エラー
PRM	: 消灯=パラメータエラーなし 赤点灯=パラメータエラー
TIME	: 消灯=全局からの応答がある 赤点灯=ケーブル断線または伝送路がノイズの影響を受け、全局からの応答がなくなった
LINE	: 消灯=ケーブル断線エラーなし 赤点灯=ケーブル断線エラー
GOT R/W	: 消灯=GOT からのアクセスなし 緑点灯=GOT からのアクセスあり
- データリンク起動状態を表示します。

データリンク中	: データリンクを実行している
データリンク停止中	: データリンクを停止している
イニシャル状態	: 初期状態にある
パラメータ受信待ち	: パラメータを受信していない状態
解列中(ポーリング要求なし)	: マスタ局からの問合せがなく、解列状態にある
解列中(回線異常)	: 回線異常により解列状態にある
解列中(その他)	: その他の要因により解列状態にある
回線テスト実施中	: 回線テストが実施されている
パラメータ設定テスト実施中	: マスタ局からのパラメータ設定テストを行なっている

- | | |
|---------|---|
| 自動復列処理中 | : 自動的に復列処理を行なっている |
| リセット中 | : CC-Link通信ユニットのリセットを行なっている(GOTがリセット状態) |
3. 現在発生しているエラーの状態を表示します。
- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 正常 | : 正常状態 |
| 伝送路異常検出 | : 伝送路の異常を検出 |
| パラメータ異常検出 | : パラメータの異常を検出 |
| CRC エラー検出 | : 受信データの異常を検出 |
| タイムアウトエラー検出 | : データ受信で、タイムアウトエラーを検出 |
| アボートエラー検出 | : データ送信で異常を検出 |
| 設定異常検出 | : 局番、局種別設定、伝送速度設定またはモード設定の異常を検出 |
| その他異常検出 | : その他の要因で異常を検出 |
4. 画面を閉じます。

備考

- ・ CC-Link 上で発生したエラーの対処方法については、「MELSEC-Q CC-Link システムマスタ ローカルユニットユーザズマニュアル(詳細編)」を参照してください。
- ・ GOT をマスタ局、ローカル局のシーケンサにシリアル接続やバス接続などで接続している場合、ネットワークユニット状態表示は使用できません。







5.3.5 マニュアル表示-言語 1(B-30500)、言語 2(B-30501)、言語 3(B-30502)



概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

1. マニュアル表示-言語 1(B-30500)～言語 3(B-30502)は、それぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチイン・ピンチアウトすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
 : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
 : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
 : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
 : 表示しているドキュメントのページを操作します。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
 : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
 : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ マニュアルの言語は、マニュアル用に作成するドキュメントの言語となります。マニュアル以外のタイトルやスイッチ銘板の言語は、コメントグループ No.255 の列 No.1～3 に設定されているコメントの言語となります。ドキュメント(ドキュメント ID)とコメントグループ No.255 の列 No.の関係は下表となります。

ベース画面	ドキュメント ID	列 No.
マニュアル表示-言語 1(B-30500)	201	1
マニュアル表示-言語 2(B-30501)	202	2
マニュアル表示-言語 3(B-30502)	203	3

- ・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No.に1を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6.マニュアル表示について」を参照してください。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 アラームリセット(W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.7 言語設定(W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。
- ・マニュアル表示-言語 1～言語 3 のいずれかのベース画面を表示中に言語設定ウィンドウで言語を切り換えた場合、選択した言語に対応したマニュアル表示画面に切り換わるように画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.3.8 時計設定(W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を ▼ ▲ スイッチで設定します。▼ ▲ スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	SB0000	データリンク再起動
	SB0002	データリンク停止
	SB0070	マスタ局情報_内容
	SB0074	予約局指定状態_内容
	SB0075	エラー無効局状態_内容
	SB0076	一時エラー無効局状態_内容
	SB0080	データリンク状態_内容
	SB0081	WDT エラー状態_内容
	SB0082	ヒューズ断状態_内容
	SB0083	スイッチ設定状態_内容
	SB0094	トランジェント伝送状態_内容
	SW0074.b0～SW0077.b15	予約局指定_01～64 局
	SW0078.b0～SW007B.b15	エラー無効_01～64 局
	SW007C.b0～SW007F.b15	状態_01～64 局(一時エラー無効状態)
	SW0080.b0～SW0083.b15	状態_01～64 局(データリンク状態)
	SW0084.b0～SW0087.b15	状態_01～64 局(WDT エラー発生状態)
	SW0088.b0～SW008B.b15	状態_01～64 局(ヒューズ断状態)
	SW008C.b0～SW008F.b15	状態_01～64 局(スイッチ変化状態)
	SW0094.b0～SW0097.b15	トランジェントエラー_01～64 局
ワード	SW0041	データリンク再起動結果_値
	SW0045	データリンク停止結果_値
	SW0061	自局局番_値
	SW006D	リンクスキャンタイム(最大)_値
	SW006E	リンクスキャンタイム(現在)_値
	SW006F	リンクスキャンタイム(最小)_値
	SW0149	自局パラメータモード_内容

5.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
		B-30003、30004 の凡例
	GD60031.b13	GOT エラーリセット信号
	GS512.b0	時刻変更信号
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示 ページ番号デバイス
	GD61000	B-30003、30004 のワードランプ
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	GS650～GS652	現在時刻
	TMP950～TMP996	スクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
255	No.1	B-30001～30502
	No.2	B-30001、B-30002
	No.3～5	B-30001
	No.6	B-30001、B-30500～30502
	No.7～12	B-30002～30502
	No.21～57	B-30002
	No.61～72	B-30003、B-30004
	No.81、82	W-30001
	No.83	W-30002
	No.84～91	W-30003

5.6 スクリプト一覧

項 目	設 定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	有り:W-30002
オブジェクトスクリプト	有り:W-30003

5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
[w:GD60080]=1; //ベース画面 30500 のドキュメントページNo.を 1 に設定 [w:GD60081]=1; //ベース画面 30501 のドキュメントページNo.を 1 に設定 [w:GD60082]=1; //ベース画面 30502 のドキュメントページNo.を 1 に設定			

5.6.2 画面スクリプト

ウィンドウ画面 30002

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	マニュアル表示画面の言語切り換え		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
<pre> if([w:GD60000] >= 30500) && ([w:GD60000] <=30502){ //ベース画面切り換えデバイス値が 30500～30502 の場合 if([w:GD60021] <= 1){ //言語が言語 1 の場合 [w:GD60000] = 30500; //マニュアル表示-言語 1 画面に遷移 } if([w:GD60021] == 2){ //言語が言語 2 の場合 [w:GD60000] = 30501; //マニュアル表示-言語 2 画面に遷移 } if([w:GD60021] == 3){ //言語が言語 3 の場合 [w:GD60000] = 30502; //マニュアル表示-言語 3 画面に遷移 } } </pre>			

5.6.3 オブジェクトスクリプト

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_年)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
<pre>//時計データより今日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD→BIN [w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD→BIN [w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット [w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット [w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得 [w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ [w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD→BIN [w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得 [w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット [w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット [w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ [w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD→BIN [w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD→BIN [w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット [w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット [w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得 [w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ [w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD→BIN [w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得 [w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット [w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット [w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ [w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD→BIN [w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD→BIN [w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット [w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット [w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得 [w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ [w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD→BIN [w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得 [w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット [w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット</pre>			

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_月)		
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// BIN → BCD 変換 [w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下 2 桁 [w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN → BCD [w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN → BCD [w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN → BCD [w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN → BCD [w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN → BCD [w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN → BCD			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_日)		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 年月設定 [w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_時)		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 日時設定 [w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_分)		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定 [w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_秒)		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 曜日設定 [w:TMP986] = [w:GD63990]; //年(BIN) [w:TMP987] = [w:GD63991]; //月(BIN) [w:TMP988] = [w:GD63992]; //日(BIN) if((([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2)) / (1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理 [w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算 [w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; //月に 12 を加算 }) [w:TMP989] = [w:TMP986] / 4; //ツェラーの公式に必要な項を作成 [w:TMP990] = [w:TMP986] / 100; //ツェラーの公式に必要な項を作成			

[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成

[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット

[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;

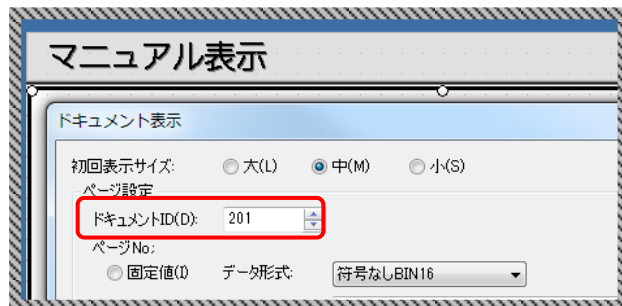
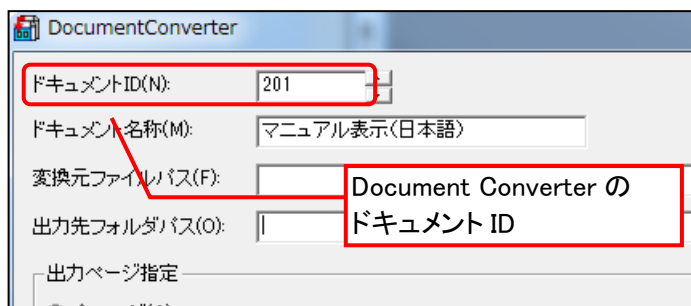
6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。なお、ドキュメント表示機能は、言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では、言語切り換え時に選択した言語のドキュメント(ドキュメント ID)を設定したベース画面を切り換え表示することで言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

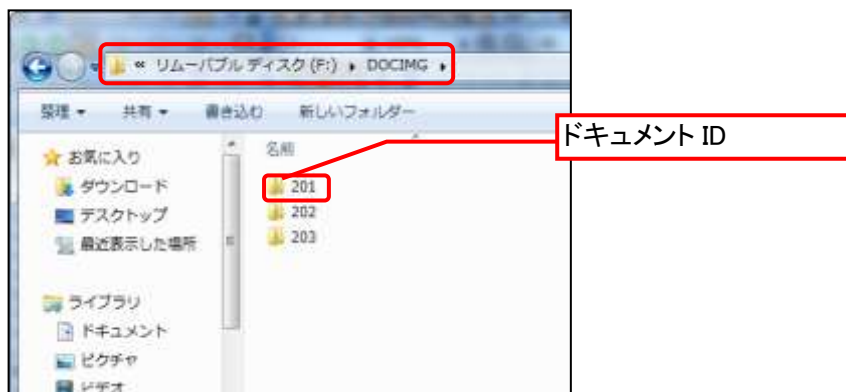
例: ベース画面 B-30500: マニュアル表示-言語 1 にマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

- (1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。この際、Document Converter の[ドキュメント ID]には、ベース画面 B-30500 のドキュメント表示の[ドキュメント ID]と同じ値を設定します。



例: ベース画面 B-30500: マニュアル表示-言語 1 のドキュメント表示のドキュメント ID

- (2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。

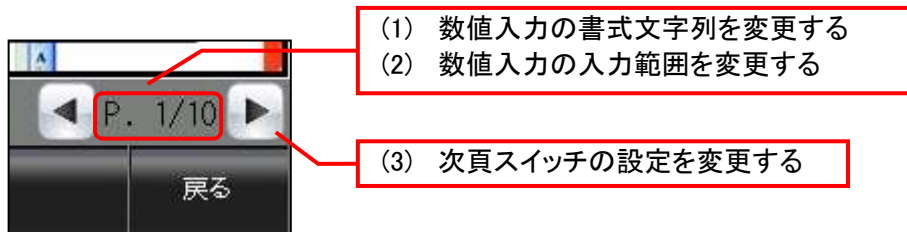


SD カードのフォルダ構成

6.2 ドキュメントの総ページ数の変更

表示するドキュメントの総ページ数に合わせて、画面右下に表示する総ページ数を変更してください。

例:ドキュメント総数を 10 ページから 20 ページに変更する場合



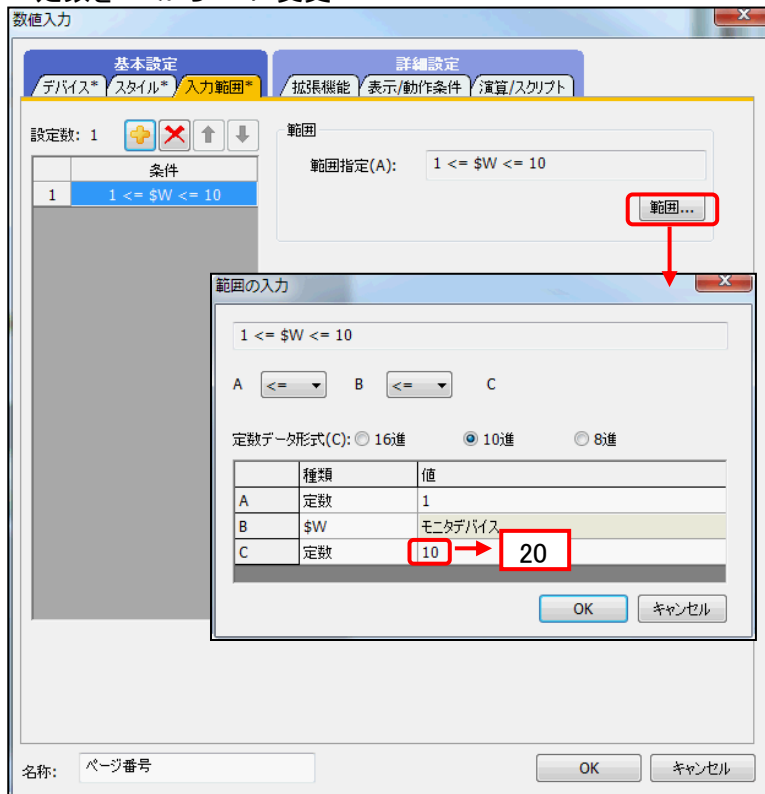
(1) 数値入力の書式を変更する。

1. 数値入力をダブルクリックし、ダイアログボックスの[デバイス]タブを表示
2. [書式文字列]を「P.##/10」から「P.##/20」に変更



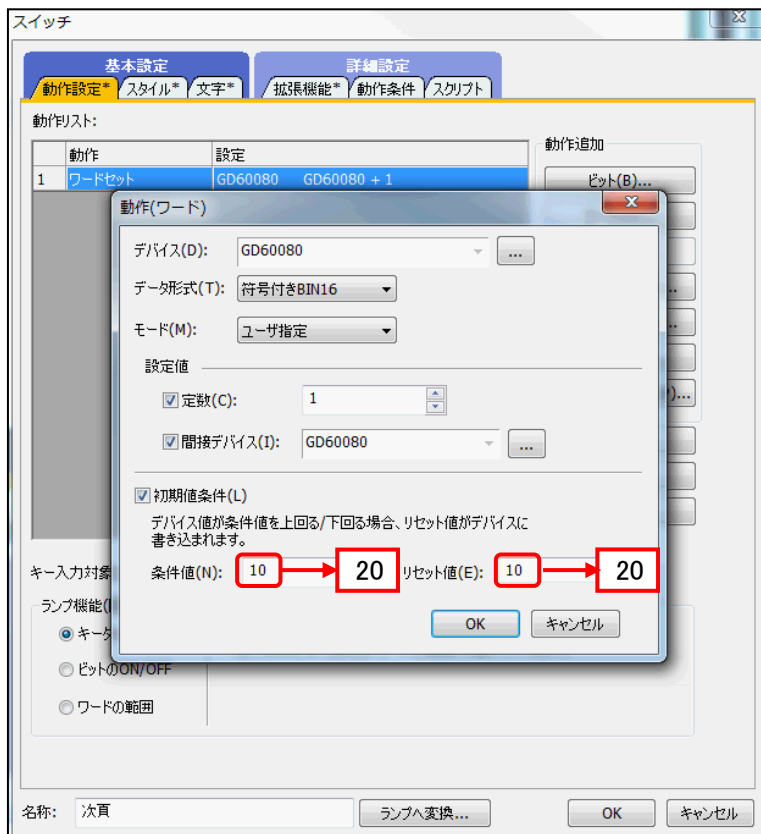
(2) 数値入力の入力範囲を変更する。

1. ダイアログボックスの[入力範囲]タブを表示
2. [範囲]をクリックし、[範囲の入力]ダイアログボックスを表示
3. 定数を 10 から 20 に変更



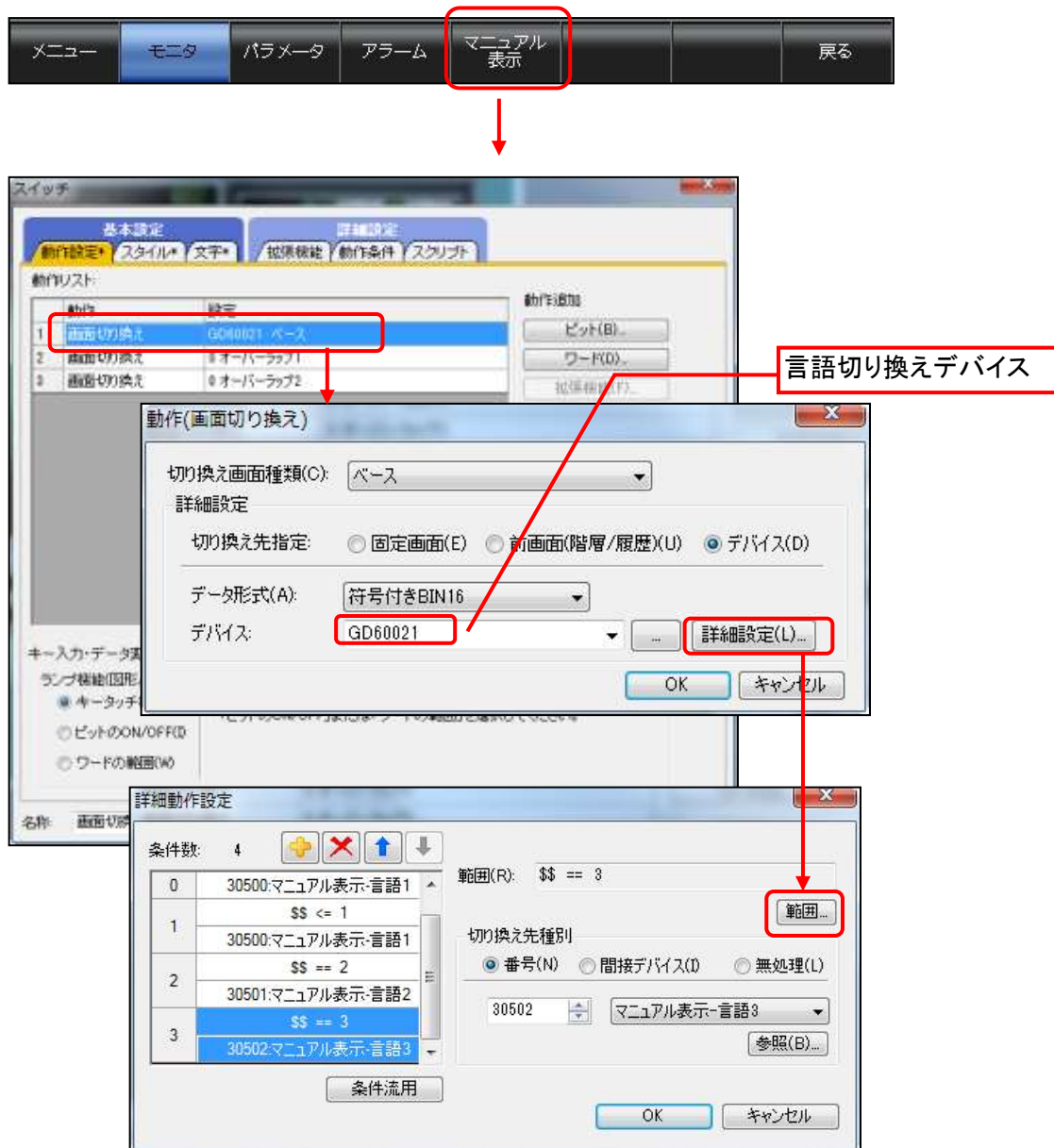
(3) 次頁スイッチの設定を変更する

1. ダイアログボックスの[動作設定]タブを表示
2. [動作 1]をダブルクリックし、[動作(ワード)]ダイアログボックスを表示
3. [条件値]、[リセット値]を 10 から 20 に変更



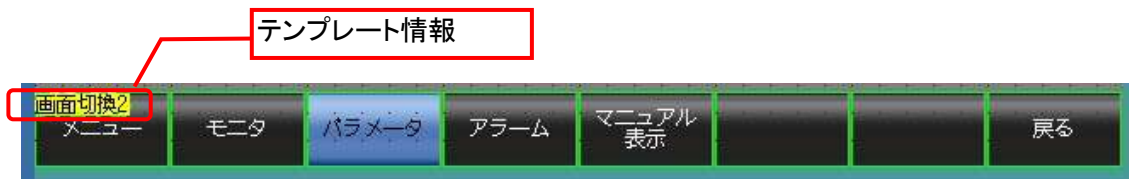
6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定

「マニュアル表示」スイッチは、言語切り換えデバイスに格納された列 No.によって表示するマニュアル画面を指定しています。列 No.の詳細については、「5.1 表示言語」を参照してください。



7. テンプレート

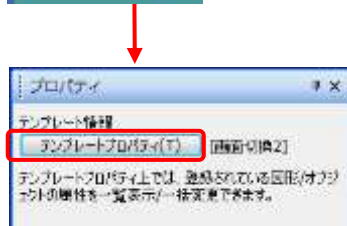
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

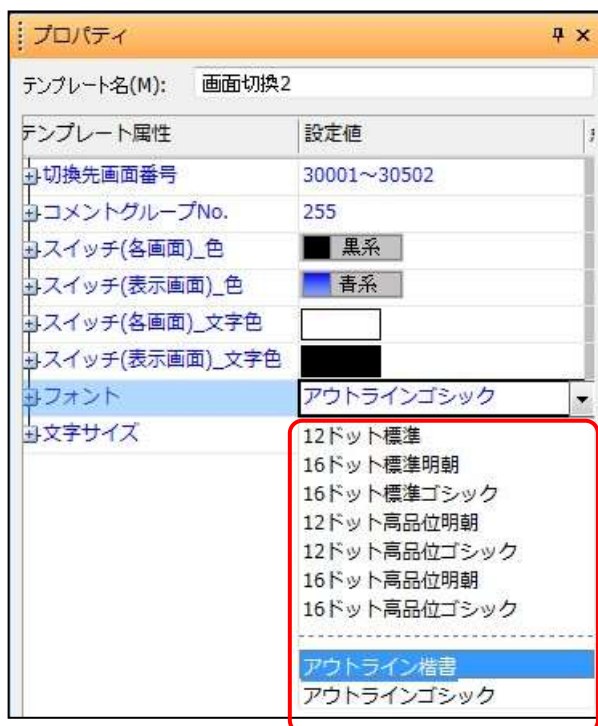
例: フォントを変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]ダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

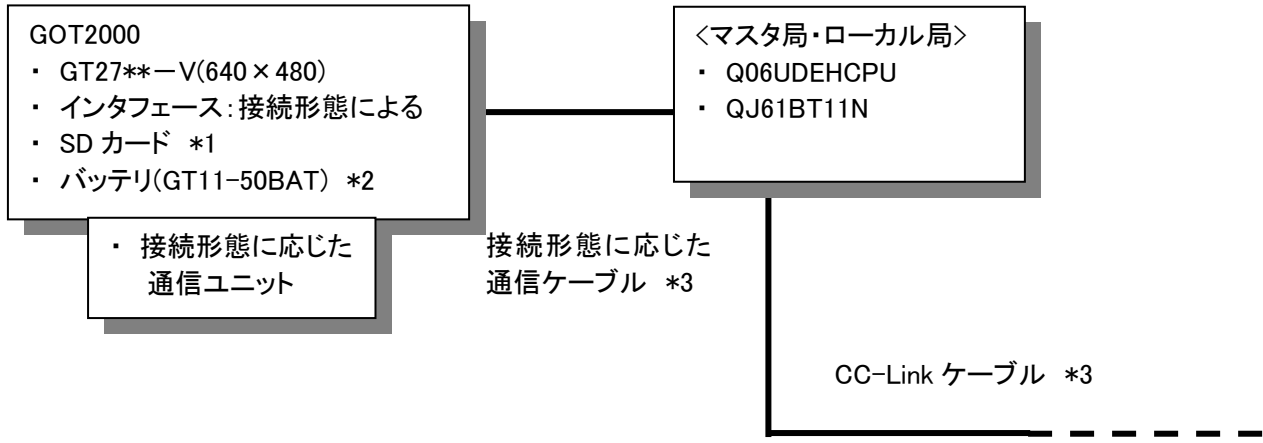
- (2) [フォント]の設定値をクリックして、変更したいフォントを選択



8. その他

CC-Link ネットワークモニタ機能サンプル画面はマスタ局やローカル局のシーケンサに GOT をシリアル接続やバス接続などで接続している場合も使用できます。

8.1 システム構成



*1:SDカードは、ドキュメント表示機能で使用しています。
*2:バッテリーは、時計データで使用しています。(バッテリーはGOT本体に標準装備しています。)
*3:ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

8.2 ネットワークパラメータの設定

マスタ局・ローカル局のシーケンサのリンク特殊リレー(SB)とリンク特殊レジスタ(SW)を GOT でモニタできるように、シーケンサエンジニアリングソフトウェアの[ネットワークパラメータ] [CC-Link]でリフレッシュデバイスを下記のように設定してください。

項目	設定値
特殊リレー(SB)	SB0
特殊レジスタ(SW)	SW0

8.3 注意事項

上記のシステム構成時は、ネットワークユニット状態表示は使用できません。